**※赤字は注意事項や記入例です。これを参考に作成ください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **工事中の消防計画** | | | | | Ⅱ．基本的な施工計画 | |
| Ⅰ．工事計画概要 | | | | | １．工事施工手順の概要 | |
| １．工事名称 | 防火対象物名又はテナント等の名称を記入すること  例：○○ビル１階○○飲食店 | | | | 施工手順の概要を簡潔に記入する。  ※下記２．工事区画の位置及び構造、３．工事工程、４．工事用資材等の搬出入及びその管理方法は、欄が小さいため、別に添付して下さい。 | |
| ２．工事場所 | 所在地を記入すること  例：大和市○○△丁目〇番〇号 | | | |
| ３．工事種別 | 工事の内容を記入すること  例：テナント入れ替えによる内装工事、○○飲食店開店工事 | | | |
| ４．建物概要 | (1)．用途 | 複合用途(飲食店) | (2)．構造 | 鉄骨造 |
| (3)．高さ | 軒の高さ　 最高の高さ | | | ２．工事区画の位置及び構造 | 別添図面に（工事区画の位置は朱線で）表示  ※案内図、階平面図、詳細平面図を添付し、工事部分と使用部分の分け、避難経路、区画の施工方法を記入してください。  ※原則として、工事部分と使用部分は不燃材料で床から天井まで区画する。  例：下地+石膏ボード12.5mmを床から天井まで施工する。 |
| (4)．階数 | 地上 階 地下 階 塔屋 階 | | |
| (5)．建築面積 | ㎡ | (6)．延べ面積 | ㎡ |
| ５．昇降機・建築設備又は工作物の 概要 |  | | | |
|  | | | | | ３．工事工程 | 別添工事工程表に表示 |
| ４．工事用資材等の搬出入及びその管理方法 | |
| 例：資材等の搬入、搬出は、営業時間外に行い、その日の工事終了後、原則持ち帰る。 | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ⅲ．工事により機能の確保に支障が生じる避難施設等、その他の安全施設等及びその代替措置等 | | | | | |
|  | 種 類 | 箇 所 | 工事期間及び時間 | 代替措置の概要 | 管理の方法 |
| １．避難施設等 | (1)．廊下その他の通路  (2)．直通階段等  (3)．地下道等    (4)．排煙設備  (5)．非常用の照明装置  (6)．非常用の昇降機  (7)．防火区画 | ※事前に建築指導課と十分協議すること |  |  |  |
| ２．その他の安全施設等 | (1)．非常用の進入口  (2)．その他 |  |  |  |  |
| Ⅳ．工事により機能の確保に支障を生じる消防用設備等 | | | | | |
|  | 種類 | 箇所 | 工事期間及び時間 | 代替措置の概要 | 管理の方法 |
| １．消火設備 | (1)．スプリンクラー設備  (2)．  (3)． | ※原則として常に有効に維持管理をすること  ※施工上やむを得ない場合は、工事内容に応じて必要な措置を講じること  ※支障箇所を図面に明示すること | ※停止する時間及び停止部分を最小限にすること | 消火器の増設  屋内消火栓のホースを増加する。  他の消防用設備を増強する。 | ※使用部分と工事部分の責任者が、事前に消防側と十分協議すること |
| ２．警報設備 | (1)．自動火災報知設備  (2)．非常警報設備    (3)． |  |  | 仮設工事により機能を確保 | 工事中、煙感知器に覆いを付けるなどの防塵措置をした場合、その日の工事終了後は、覆いを外し正常に感知できるようにしておく。 |
| ３．避難設備 | (1)．避難器具  (2)．誘導灯  (3)． |  |  | 当該設備等の機能が確保できる場所に移設 |  |
| ４．消火活動上必要な施設 | (1)．連結送水管  (2)．  (3)． |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ⅴ．出火防止体制（火災発生のおそれのあるものに限る。） | | | |
|  | 種 類 | 集積又は設置方法 | 管理の方法 |
| １．火気使用 |  | 作業終了後の持ち帰りを原則とする  やむを得ず現場に保管する場合は、防炎シートで覆い、他の物品と分けて保管する | 取扱い責任者の選任（会社名・氏名）  消火器・水バケツの設置  作業前後の機器点検実施  作業前後の取扱い責任者への報告  有資格者証携帯の義務付け |
| ２．危険物等 | (1)．危険物  品名・数量（　　　　　　　　　　　　　） | ※許可や承認又は届出が必要な場合があるため、事前に消防側と十分協議すること | 火気厳禁の徹底  消火器の設置  高積みの禁止  必要量のみ開缶 |
| (2)．可燃性工事用資材  品名・数量（　　　　　　　　　　　　　） | 工事工程に基づいた必要最小限の搬入とする | 整理整頓に努め、避難通路を確保する  一定の場所へ集積する  搬入数量の報告、確認 |
| ３．機械器具 | アーク溶接機  高速カッター  電動ドリル  電動丸のこ  その他 | 可燃物の付近及び、引火性又は爆発性のあるところでは作業しない  作業終了後、持ち帰る | ※火気使用欄管理方法に準じること  火気使用許可証の発行なども１つの方法 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Ⅵ．防火管理体制 | | | | |
| １．火災予防対策 | ⑴．工事部分の対策及び組織 | ア．工事部分における火災予防対策  (ｱ) 消火器の設置  (ｲ) 喫煙は指定された場所で行う  (ｳ) 消防用設備等の機能の確保を図る  (ｴ) 危険物の持ち込みは少量未満とし、管理を徹底する。  (ｵ) 可燃性資機材の整理・整頓  (ｶ) その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  イ．火災予防組織及び業務分担  　防火責任者　　―（　　　氏名・会社名・連絡先　　　）  　　業務　(ｱ) 防火管理者の補佐  　　　　　(ｲ) 作業現場の監督  　　　　　(ｳ) 作業終了後の安全管理  　　　　　(ｴ) 作業現場への立入制限  　　　　　(ｵ) 消防設備の維持管理  　火元責任者　　―（　　　氏名・会社名・連絡先　　　）  (ｱ) 火気使用器具の安全管理  (ｲ) 工事区域内の整理・整頓  (ｳ) 喫煙区画  (ｴ) 消火器・水バケツの維持管理  (ｵ) 使用部分との防火区画の維持管理  (ｶ) その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | ２．災害発生時の対策及び自衛消防組織 | ア　自衛消防組織  　　　　使用者側　　　　　※別添すること  　　　自衛消防組織  　　　　　　　　　　　　　　　消火係  　　　　　　　　　　　　　　　　氏名・会社名・連絡先      工事者側　　　　　　　通報・連絡係  自衛消防隊長　　　　　　　氏名・会社名・連絡先  （氏名・会社名・連絡先）    　　　　　　　　　　　避難誘導係  　　　　　　　 　　　　氏名・会社名・連絡先        　※工事場所が複数又は広範囲にわたる場合は、工事地区隊を編成すること  イ　任務分担  消火係 ― 初期消火活動（使用部分の火災を含む）  通報･連絡係 ― 火災発見時の消防本部への通報及び作業場内への通報  避難誘導係 ― 作業員等の避難誘導 |
| ⑵．使用部分の対策及び組織 | ※　事前に提出されている消防計画による |
| ３．使用部分と工事部分の相互の連絡体制 | | 工事工程・作業内容の打ち合わせ（毎日・定期）  工事開始・終了の防火管理者への報告  緊急連絡手段の確立（内線電話・トランシーバーの活用）  各責任者への具体的な連絡体制の確立 | | |
| ４．教育・訓練の実施状況 | | 防災教育の実施（避難・通報・消火の体制）  防災訓練の実施（使用できない階段・消防用設備等を想定し実施） | | |